

この本
よんだよ
どの本
よもうか

「おうちでよみたい3歳からのえほん」編



袋井市立図書館



ごあいさつ

このたび、平成 29 年に策定した「袋井市子ども読書活動推進計画（第三次）」に基づき家庭で楽しめる絵本リストを作成いたしました。

本冊子作成にあたって、広く読み聞かせボランティア活動などを行い、経験豊かな「静岡県子ども読書アドバイザー」の皆さまのご協力をいただきました。深く御礼申し上げます。

本冊子が市民の皆さまに活用され、読書によって子どもたちが豊かな心と言葉を育むことができるよう、また親子の絆がいつそう深まりますよう、切に希望してやみません。

紹介した本は、すべて市立図書館で所蔵しています。1冊でも2冊でも実際に手にとっていただき、子どもたちと、本を仲立ちにしたすばらしいひとときが過ごせますようお願いしております。

袋井市立図書館



も く じ



おはなしのえほん 3

かがくのえほん 15

むかしばなしのえほん 19

ことばのえほん 23

じ
字のないえほん 25



この冊子の使い方

- 種類別、対象年齢順、書名順に紹介しています。
- 対象年齢はあくまでも目安です。
- 「シリーズあり」と表記されているものは、シリーズの本があります。



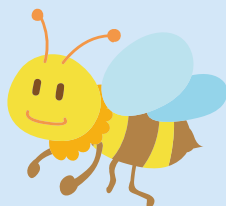
本を読んだら、「よんだしるし」の
ところに色をぬってね。



おはなしのえほん

物語の絵本です。

子どもたちは、絵本の中に入り込んで、主人公と一緒に物語の世界を楽しみます。



『いたずらこねこ』



バーナディン・クック／ぶん
レミイ・シャーリップ／え
間崎ルリ子／訳
福音館書店 (E イ)



こねこは、生まれて初めてかめと出会いました。こねこが前足でかめをポンと叩くと頭がひっこみ、もう一度叩くと今度は足がひっこみました。かめの様子に驚くこねこの姿が、いきいきと描かれています。

●3歳から

『うずらちゃんのかくれんぼ』



きもとももこ
／さく

福音館書店
(E ウ)



うずらちゃんとひよこちゃんが楽しくかくれんぼをしていると、急に雨が降ってきて、おうちに帰れなくなってしまいました。するとむこうに大きな影が…。表情豊かに描かれた絵が子どもの心をつかみます。「もういいかい」「もういいよ」の繰り返しも楽しい。

●3歳から ※シリーズあり

『おでかけのまえに』



筒井頼子
／さく
林明子
／え

福音館書店
(E オ)



今日はピクニック。うれしくてたまらないあやは、お弁当をつめたり、お父さんのバッグを開めたりとお手伝いを始めます。でもお弁当はぐちゃぐちゃ、バッグはパンクしてしまいます。あやこの一生懸命さと、それを見守る両親のあたたかさが伝わってきます。

●3歳から

『かばくん』



岸田衿子／さく
中谷千代子／え
福音館書店 (E カ)



朝寝坊のかばくん親子のところに、かめを連れた男の子がやってきてかばくンを起こします。日曜日の動物園はお客さんで大賑わい。動物園のかばの一日が詩的な文章と素朴な絵で描かれています。ごはんを食べる時の大きな口は圧巻です。

●3歳から ※シリーズあり

『こぐまのたろ』



きたむら
えり
／さく・え
福音館書店
(E コ)



黄色いくまのたろと真っ白なうさぎのなーちゃんが、きいちごを取りに行きます。かごいっぱいといったきいちごで母さんがケーキを焼いてくれました。日常のゆったりとした楽しみが味わえる絵本です。ケーキのあまい匂いがしてきそう。

●3歳から ※シリーズあり

『コッコさんのおみせ』



片山健
／さく・え
福音館書店
(E コ)



コッコさんはおうちでお店屋さんごっこを始めました。お菓子屋さん、果物屋さん、カレー屋さん。でもお客さんは誰も来ません。そこでコッコさんはカレーの出前をすることにしました。ごっこ遊びに夢中になる時期におすすめの絵本です。

●3歳から ※シリーズあり

『ちいさいしょうぼうじどうしゃ』



ロイス・レンスキー／ぶん・え
わたなべしげお／やく
福音館書店 (E チ)



消防士のスモールさんが、火事場に駆け付けます。2階にいる女の子をはしごを使って助けたり、屋根に穴をあけて燃え広がるのを防いだり。スモールさんの勇敢な姿に最後まで引き付けられます。消防士のしごとやポンプ車のしくみも分かります。

●3歳から ※シリーズあり

『ちいさなうさこちゃん』



ディック・ブルーナ／ぶん・え
 いいいももこ／やく
 福音館書店 (E チ)



うさぎのふわふわさんとふわおくさんに女の子が生まれ、うさこちゃんと名づけました。うさこちゃんを見に、どうぶつがお祝いにやってきます。日本語の響きを大切に文章で聞きやすく楽しめます。太く黒い描線と原色の絵が人気です。

●3歳から ※シリーズあり

『ティッチ』



パット・ハッチンス／さく・え
 いいいももこ／やく

福音館書店
 (E テ)



ティッチは小さな男の子。大きな兄さんや姉さんのことをなんでもうらやましく思っています。でもある日、ティッチがまいた小さな種が芽を出して…。得意満面のティッチの姿に、子どもたちは共感するでしょう。

●3歳から ※シリーズあり

『とんとんとめてくださいな』



こいでたん／ぶん
 こいでやすこ／え

福音館書店
 (E ト)



道に迷った三匹のねずみが家を見つめますが誰もいません。疲れていたねずみたちは、その家に泊めてもらうことにします。しばらくするとおおきなくろいものがにゅうっと入ってきて…。子どもたちは、ドキドキしながらお話を楽しみます。

●3歳から ※シリーズあり

『ねずみのいえさがし』



ヘレン・ピラス／さく
 まつおかきょうこ／やく

童話屋
 (E ネ)



ねずみが家を探しています。植木鉢は寒すぎるし、バケツでは広すぎます。あちこち探して、やっとぴったりの家を見つけました。リズムカルな繰り返しでお話が進むので、最後まで楽しめます。小さなねずみを主人公にした写真絵本です。

●3歳から ※シリーズあり

『はたらくるま』



バイロン・バートン／さく
あかぎかずまさ／やく
ポプラ社 (E ハ)



クレーンやブルドーザーなど、働く車とそれを操る人たちの一日の仕様の様子を描いています。シンプルでわかりやすい絵にカラフルな色づかいで、乗りものが好きな子も、そうでない子も楽しめる絵本です。

●3歳から

『はなをくんくん』



ルース・
クラウド
／ぶん
マーク・シー
モント／え
きじまはじめ
／やく
福音館書店
(E ハ)



冬、雪が降っている土の中、のねずみや熊が眠っています。どうぶつたちは、突然に目を覚まし、一斉に鼻をくんくんさせてかけてく、かけてく…。白黒の絵の中、黄色の花が印象的です。静かな森に訪れた春の喜びが感じられます。

●3歳から

『パンやのくまさん』



フィービ・ウォージントン／さく・え
セルビ・ウォージントン／さく・え
まさきりこ／やく
福音館書店 (E パ)



くまさんは、朝早く起きてパンを焼き、お店や車で売ります。パンが売れてしまうとお店をしめて晩ごはんを食べます。ひとりでなんでもできるくまさんは、子どもの憧れです。「自分でできる」と言い始めた頃にお薦めの小型絵本です。

●3歳から ※シリーズあり

『わにわにのおふろ』



小風さち
／ぶん
山口マオ
／え

福音館書店
(E ワ)



ワニのわにわにはお風呂が大好き。ちゃんとお湯に浸かってから、おもちゃで遊び、石鹸のあぶくを飛ばします。それから、お風呂でうたも歌います。版画のわにわには、迫力満点ですが、どこか愛嬌を感じます。擬音語も楽しい。

●3歳から ※シリーズあり

『アンガスとねこ』



マージョリー・フラック／さく・え
瀬田貞二／やく
福音館書店 (E ア)



子犬のアンガスは知りがりや。ある日、ねこに興味を持って追いかけますが、届かないところへ逃げられてしまいます。ついにアンガスは寝室へ追い込みましたが、ねこは消えてしまいました。いったいどこへ行ったのでしょうか。

●4歳から ※シリーズあり

『おばけがぞろぞろ』



ささきまさき
／作

福音館書店
(E オ)



おばけのぞぞまるちゃんが、木のうろからびろ～んとしてきて、友達のものりくんを誘いにいきます。おかしな名前のおばけたちが、あっと驚く場所からぞろぞろ登場。子どもたちは、次はどこから出てくるだろうと予想し、楽しめます。

●4歳から

『おふろだいすき』



松岡享子
／作
林明子
／絵

福音館
書店
(E オ)



おふろが大好きな男の子があひるのプッカとおふろに入りました。するとお湯の中から、かめやペンギン、オットセイが出てきました。次は誰が出てくるでしょうか。読んであげると、日常の世界から空想の世界へ自然に入り込めます。

●4歳から

『かいじゅうたちのいるところ』



モーリス・センダック／さく
じんぐうてるお／やく
富山房 (E カ)



ある晩、マックスは大暴れして、お母さんに寝室へ放り込まれました。すると波が船を運んできて、たどり着いたのは怪物たちのいるところ。マックスは、怪物たちとも大暴れしているうちに優しい誰かところへ帰りたくなり…。

●4歳から

『ガンピーさんのふなあそび』



ジョン・バー
ニングラム
／さく
みつよし
なつや
／やく
ほるぷ出版
(E ガ)



ガンピーさんが舟で川に出かけると、子どもやウサギ、ネコや、ブタまで乗りたがります。「静かに乗るならいいよ」と乗せてあげましたが、みんなだんだんと騒ぎ出します。淡い色合いが美しい絵本。子どもたちは乗客が増えていくのを面白がります。

●4歳から ※シリーズあり

『きみなんかだいきらいさ』



ジャニス・メイ・
ユードリー／ぶん
モーリス・
センダック／え
こだまともこ
／やく

富山房 (E キ)



ジェームズとぼくは大の仲良し。でもジェームズはいばりやだし、砂をなげるからぼくは大嫌いになります。そこで「もうともだちになってやらない」と言いに行きました。子どものけんかと仲直りの心の変化を、シンプルな絵と文がゆかいに伝えています。

●4歳から

『ぐりとぐら』



中川李枝子／さく
大村百合子／え
福音館書店 (E グ)



のねずみのぐりとぐらは、お料理すること食べることが大好き。森に大きなたまごが落ちていたので、カステラを焼くことにしました。できあがったカステラのおいしそうなこと。いいにおいにつられて動物たちが集まってきました。

●4歳から ※シリーズあり

『こすすめのぼうけん』



ルース・エインズワース／作
石井桃子／訳 堀内誠一／画
福音館書店 (E コ)



お母さんに飛び方を教えてもらったこすすめは、生まれて初めて巣を離れてひとりで飛んでいきました。遠くまで飛びすぎたこすすめは、休ませてもらおうと鳥の巣をたずねますが、次々と断られてしまします。子どもたちは、こすすめと一緒に冒険を楽しみます。

●4歳から

『だるまちゃんとてんぐちゃん』



加古里子／さく・え
福音館書店 (E ダ)



友達のてんぐちゃんの持っているものをなんでも欲しくなってしまうだるまちゃん。その願いを叶えようとお父さんのだるまどんが、たくさんのものを用意しますが、欲しいものとは少し違います。だるまちゃんが自分でみつけたものは…。

●4歳から ※シリーズあり

『どろんこハリー』



ジーン・
ジオン／ぶん
マーガレット・
プロイ・
グレアム／え
わたなべ
しげお／やく
福音館書店 (E ド)



ハリーは黒いぶちのある白い犬。お風呂が嫌で外に逃げ出し、あちこちで遊んで白いぶちのある黒い犬になってしまいました。家に帰っても誰にもハリーだと気づいてもらえません。子どもはどろんこになって遊ぶハリーに共感し、幸せな結末に満足します。

●4歳から ※シリーズあり

『ピーターラビットのおはなし』



ビアトリクス
・ポター
／さく・え
いしいももこ
／やく

福音館書店
(E ピ)



4ひきの子うさぎはお母さんからおひやくしょうのマクレーガーさんの畑だけに行っ
てはいけなと言われていました。しかし、いたずらなピーターは畑に行ってしまう。子どもたちはピーターと一緒にハラハラドキドキすることでしょう。

●4歳から ※シリーズあり

『ふしぎなナイフ』



中村牧江／さく 林健造／さく
福田隆義／え
福音館書店 (E フ)



テーブルの上に置いてある一本のナイフ。ふつうに見えるけれど、実はふしぎなナイフです。ナイフがまがる? きれの? おれる? 予想もできない変化をしていきます。最後には一体どうなるのでしょうか? 思わず「ありえない」と叫びたくなる一冊です。

●4歳から

『ゆきのひ』



エズラ＝ジャック＝キーツ／ぶん・え
きじまはじめ／やく
偕成社 (E ユ)



ある日、ピーターが目をさますと雪が積もっていました。足跡をつけたり、ゆきだるまを作ったり、雪の山からすべりおたりして遊びます。最後にかたい雪だんごを作って、ポケットにしまいますが…。雪遊びの喜びが伝わってきます。

●4歳から ※シリーズあり

『わゴムはどのくらい伸びるかしら?』



マイク・サーラー／ぶん
ジェリー・ジョイナー／え
きしだえりこ／やく
ほるぶ出版 (E フ)



坊やは、わゴムがどのくらい伸びるかためてみたくなりました。わゴムをベッドの枠にひっかけて外へ出発です。自転車に乗って、バスに乗って、砂漠へ行ってラクダに乗って…。わゴムはいったいどこまで伸びていくのでしょうか?

●4歳から

『おさとぼうしうり』



エズフィール・
スロボドキーナ
／さく・え
まつおか
きょうこ
／やく
福音館書店
(E オ)



ぼうしうりは頭の上にぼうしをたくさん重ねて売り歩いていました。ある日、昼寝から起きると大事な帽子がありません。木の上には帽子をかぶったたくさんの猿。ぼうしうりは猿からぼうしを取り戻せるのでしょうか。ぼうしうりとさるのやり取りが痛快的な絵本です。

●5歳から

『かじってみたいな、お月さま』



フランク・アッシュ／えとぶん
山口文生／やく
評論社 (E カ)



くまくんは、お月さまをかじってみたいなと思い、ロケットを作って月へ出発しました。くまくんが目を覚ますと、そこは一面の銀世界。月に到着したと思ったくまくんがかじったものは何でしょう。くまくんの純粋な想いが伝わる絵本です。

●5歳から ※シリーズあり

『ガブリエリザちゃん』



H・A・レイ
／作
今江祥智
／訳

文化出版局
(E ガ)



ガブリエリザちゃんはホワイ博士が見つけた食虫植物。博士の家で飼うことにしますが、犬をがぶり、お手伝いさんをがぶり。ある日、博士の家にどろぼうが入って…。かわいらしい見た目と裏腹に何でもかみつくガブリエリザちゃんが巻き起こす騒動がおもしろい。

●5歳から

『くまのビーディーくん』



ドン＝フリーマン／さく
まつおかきょうこ／やく
偕成社 (E ク)



ビーディー君は、セイヤー君が持っているゼンマイ仕掛けのくまのおもちゃです。ある日、ビーディー君は家出をして、ほらあなで暮らしはじめます。すると、突然動けなくなって…。白黒の版画で描いた絵は素朴で、おもちゃと男の子の友情に心あたたまります。

●5歳から

『くんちゃんのだいいょうこ』



ドロシー・マリノ
／文 絵
石井桃子
／訳

岩波書店
(E ク)



こぐまのくんちゃんは、渡り鳥のまねをして南の国へ出発します。しかし、双眼鏡やつりざおなど何度も忘れ物を取りに帰るうちに、眠くなってしまいます。くんちゃんの無邪気な行動をやさしく見守る両親も素敵で、絵もあたたかみを感じられます。

●5歳から ※シリーズあり

『ちいさいおうち』



ばーじにあ・りー・ばーとん／ぶんとえ
いしいももこ／やく
岩波書店 (E チ)



むかしむかし、田舎の静かなところにちいさいおうちがありました。月日がたち、ちいさいおうちのまわりには、大きなビルが立ち並び、おひさまもお月さまもみえなくなってしまいました…。美しい文章と細部まで描かれた絵を堪能できます。

●5歳から

『歯いしゃのチュー先生』



ウィリアム
・スタイグ
／ぶんとう
うつみまお
／やく

評論社
(E ハ)



ネズミのチュー先生はうでききの歯医者です。色々な動物の歯を治療しますが、ネコやキツネなどの危険な動物はおことわりです。ある日、歯が痛むキツネが泣きながらやってきました。チュー先生は無事治療できたでしょうか。やわらかなタッチの絵も魅力的です。

●5歳から

『はじめてのおつかい』



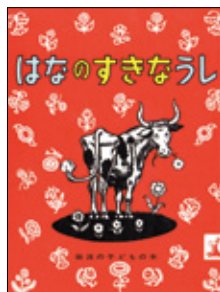
筒井頼子／さく
林明子／え
福音館書店 (E ハ)



5歳のみいちゃんは、生まれてはじめておつかいを頼まりました。でも、転んでお金を落としてしまったり、緊張して大きな声が出せなかったり…。生き生きとした絵で描かれ、女の子の心の動きに子どもたちも自分の体験と重ね合わせることでしょう。

●5歳から

『はなのすきなうし』



マンロー・リーフ
／おはなし
ロバート・
ローソン／え
光吉夏弥／やく

岩波書店
(E ハ)



スペインの牧場でのんびり暮らすフェルジナンドは花が大好き。しかし、ある日牛飼いの男たちに勇敢な牛と勘違いされ、大闘牛場に連れて行かれてしまいます。フェルジナンドは闘うことができるのでしょうか。いきいきと描かれたモノクロの絵もお話に合っています。

●5歳から

『まいごになったおにんぎょう』



A. アーディ
ゾーニ／文
E. アーディ
ゾーニ／絵
石井桃子
／訳

岩波書店
(E マ)



ある日、お母さんとスーパーに行った女の子は、冷凍庫の中にいた小さなお人形を見つけます。寒そうで寂しそうに見えるお人形のために、女の子は帽子や服を作って届けます。女の子と人形の交流が描かれ、心あたたまります。

●5歳から

『ママ、ママ、おなかがいたいよ』



レミイ・シャーリップ／さく・え
 パートン・サプリー／さく
 つばいいくみ／やく
 福音館書店 (E マ)



帽子を探しているお母さんに、ぼうやが「おなかが痛いよ。お医者さんよんで」と叫びます。パンパンにふくらんだぼうやのおなかの中から出てきたものは、クツや帽子、鳥かごに自転車…。奇想天外なお話が、色彩ゆたかな絵と影絵で描かれています。

●5歳から

『ラチとらいおん』



マレーク・ペロニカ／ぶん・え
 とくながやすもと／やく
 福音館書店 (E ラ)



ラチは世界で一番弱虫な男の子。ある朝、突然現れた小さな赤いライオンと、相撲をとったり体操をしたりしているうちに少しずつ強くなっていきます。ある日、ラチは困っている友達を見かけて…。ラチと一緒に子どもたちも成長することでしょう。

●5歳から

そのほかのおすすりめえほん

番号	書名 (50音順)	著者	出版社	年齢
1	きょうりゅうきょうりゅう	バイロン・パートン／さく え なかがわちひろ／やく	徳間書店	3歳から
2	ショーティーとねこ	バーナディン・クック／さく 小笠原まき／え 小風さち／やく	福音館書店	3歳から
3	ちいさなねこ	石井桃子／さく 横内襄／え	福音館書店	3歳から
4	とこちゃんはどこ	松岡享子／さく 加古里子／え	福音館書店	3歳から
5	なにをたべてきたの	岸田衿子／文 長野博一／絵	佼成出版社	3歳から
6	おかあさんだいすき	まーじょー・ふらつく／文と絵 光吉夏弥／訳・編	岩波書店	4歳から
7	おなかのすくさんぽ	かたやまけん／作	福音館書店	4歳から
8	からすのばんやさん	かこさとし／作・絵	偕成社	4歳から
9	くまのコールテンくん	ドン＝フリーマン／さく まつおかきょうこ／やく	偕成社	4歳から
10	ぐるんぱのようちえん	西内ミナミ／さく 堀内誠一／え	福音館書店	4歳から

番号	書 名 (50 音順)	著 者	出版社	年齢
11	3びきのくま	トルストイ／ぶん バスネツォフ／え おがさわらとよき／やく	福音館書店	4 歳から
12	しょうぼうじどうしゃ じぶた	渡辺茂男／さく 山本忠敬／え	福音館書店	4 歳から
13	ちいさなヒッポ	マーシャ＝ブラウン／さく うちだりさこ／やく	偕成社	4 歳から
14	はろるとむらさきの くれよん	クロケット・ジョンソン／作 岸田衿子／訳	文化出版局	4 歳から
15	ひとまねこざると きいろいぼうし	H.A. レイ／文・絵 光吉夏弥／訳	岩波書店	4 歳から
16	めっきらもっきら どおんどん	長谷川摂子／作 ふりやなな／画	福音館書店	4 歳から
17	もりのなか	マリー・ホール・エッツ／ぶん・え まさきりこ／やく	福音館書店	4 歳から
18	あくたれラルフ	ジャック・ガントス／さく ニコール・ルーベル／え いしいももこ／やく	童話館出版	5 歳から
19	あたしもびょうきに なりたいな!	フ란ツ＝ブランデンベルク／さく アリキ＝ブランデンベルク／え ふくもとゆみこ／やく	偕成社	5 歳から
20	おいしいのぼうけん	ふるたたるひ／さく たばたせいいち／画	童心社	5 歳から
21	おちやのじかに きたとら	ジュディス・カー／作 晴海耕平／訳	童話館出版	5 歳から
22	おまたせクッキー	パット＝ハッチンス／さく 乾 侑美子／やく	偕成社	5 歳から
23	かさどろぼう	シビル・ウェッタシンハ／作・絵 いのくまようこ／訳	福武書店 (現在は徳 間書店)	5 歳から
24	キャベツくん	長 新太／文 絵	文研出版	5 歳から
25	げんきなマドレーヌ	ルドウィヒ・ベームルマン／作・画 瀬田貞二／訳	福音館書店	5 歳から
26	じごくのそうべえ	田島 征彦／作	童心社	5 歳から
27	ねえ、どれがいい?	ジョン・バーニンガム／さく まつかわまゆみ／やく	評論社	5 歳から
28	ペレのあたらしいふく	エルサ・ベスコフ／さく・え おのでらゆりこ／やく	福音館書店	5 歳から
29	よかったねネッドくん	レミー・シャーリップ／さく やぎたよしこ／やく	偕成社	5 歳から
30	よるのびょういん	谷川俊太郎／作 長野重一／写真	福音館書店	5 歳から

かがくの えほん

身近な物事を子どもたちにわかりやすく、また興味を持つよう描いています。

読み終わったら、実際に楽しめる絵本もあります。



『カレーライス』



小西英子
／さく

福音館
書店
(E カ)



たまねぎ、おにく、じゃがいも、にんじんを切って、お鍋で炒めて、コトコト煮ます。子どもたちが大好きなカレーライスの作り方が、やわらかいタッチの絵で丁寧に描かれています。できあがったカレーライスからは、おいしそうなおいがしてきそう。

●3歳から

『いちご』



平山和子
／さく

福音館
書店
(E イ)



いちごの苗は、畑で冬を越して春から初夏になると、緑の葉っぱの奥から小さないちごの実をのぞかせます。日に日に赤く色づく様子が丁寧に描かれています。本物そっくりな絵のいちごは思わず手に取ってお口に入れたくなります。

●3歳から

『どうやってねるのかな』



やぶうちまさゆき／作
福音館書店 (E ド)



しまりす、らっこ、きりんなどが、どのような姿で眠るか知っていますか？動物園や水族館で見られる生きものの寝方が、細部まで丁寧に描かれています。寝転がるだけではない寝姿に新たな発見があるでしょう。

●3歳から ※シリーズあり

『てとゆび』



堀内誠一／ぶん・え
福音館書店 (E テ)



てとゆびは毎日使う体の一部。普段意識していないけれど「親指を使わないでボタンはとめられない」「左手と右手はぴったりくっつく」など、思わずやってみたくなるすごいとゆびのはたらきがわかります。

●4歳から

『びっくりまつぼっくり』



多田多恵子
／ぶん
堀川理万子
／え
福音館書店
(E ビ)



まつぼっくりはとっても不思議。上から見ると花びらみたいだし、種はくるくる回って落ちていく。雨の日は小さなしょんぼりまつぼっくりに変身！まつぼっくりの変化をストーリー仕立てで紹介します。挑戦したくなるびっくり手品ものっていますよ。

●4歳から

『やさいのおなか』



きうちかつ／さく・え
福音館書店 (E ヤ)



「これなあに」問かけの後には不思議な形。ページをめくると形に色がつき、野菜の絵が現れます。不思議な形は野菜の断面図。ねぎ、ピーマン、ニンジンなどの「おなか」から答えを予想しましょう。

●4歳から ※シリーズあり

『おなら』



長新太
／さく
福音館書店
(E オ)



「おならってどうして出るの?」この本は、そんな疑問に答えてくれる本です。わかりやすく絵もとてもゆかいです。おならが出た後で、お子さんと顔を見あわせて笑ってしまうかもしれません。見返しのおならの音の一覧もおもしろい。

●5歳から

『かみひこうき』



小林実
／ぶん
林明子
／え

福音館
書店
(E カ)



とがったひこうきやつばさの広いひこうきは、どんな飛び方をするのでしょうか。重ねて飛ばしてみたら?高いところから飛ばしてみたら?いろいろなかたちのかみひこうきを折って、どんな飛び方をするのか確かめてみたくなる絵本です。

●5歳から

『ふゆめがっしょうだん』



富成忠夫
／写真
茂木透
／写真
長新太／文

福音館書店
(E フ)



冬の木の芽を拡大した写真絵本です。よく見るとウサギやコアラの顔、帽子をかぶったこどもの顔などいろいろな顔に見えてきます。リズムカルな詩と表情豊かな春を待つ木の芽が楽しめます。冬の木の芽をじっくり観察したくなるでしょう。

●5歳から

『ぼく、だんごむし』



得田之久
／ぶん
たかはし
きよし
／え

福音館書店
(E ボ)



子どもたちに人気のだんごむしの生態が、シンプルな切り絵でわかりやすく描かれています。「だんごむしはエビの仲間」「コンクリートも食べる」など大人でも知らないことが書かれています。読みおわたたら、庭に出て、だんごむしを探したくなるでしょう。

●3歳から

『わたし』



谷川俊太郎
／ぶん
長新太
／え

福音館書店
(E ワ)



「わたし」はお母さんからみると「むすめ」。おばあちゃんから見ると「まご」。犬から見ると「人間」。私はひとりしかいないのに、いろいろな呼び名があることが分かる哲学的な絵本です。平易な文章と親しみやすい絵で、わかりやすく書かれています。

●5歳から

そのほかのおすすめほん

番号	書 名 (50 音順)	著 者	出版社	年齢
1	みんなうんち	五味太郎／さく	福音館書店	3 歳から
2	かぜフーホッホ	三宮麻由子／ぶん 斉藤俊行／え	福音館書店	4 歳から
3	くものいえ	得田之久／さく	童心社	4 歳から
4	どろだんご	たなかよしゆき／ぶん のさか ゆうさく／え	福音館書店	4 歳から
5	およく	なかのひろたか／さく	福音館書店	5歳から
6	かさぶたくん	やぎゅうげんいちろう／さく	福音館書店	5歳から
7	かぶとむしはどこ？	松岡達英／さく	福音館書店	5歳から
8	こいぬがうまれるよ	ジョアンナ・コール／文 ジェローム・ウェクスラー／写真 つばいいくみ／訳	福音館書店	5歳から
9	こつぶ	谷川俊太郎／文 今村昌昭／写真 日下弘／AD	福音館書店	5歳から
10	ざりがに	吉崎正巳／ぶん・え 須甲鉄也／監修	福音館書店	5歳から
11	たんぼぼ	平山和子／ぶん・え 北村四郎／監修	福音館書店	5歳から
12	ちのはなし	堀内誠一／ぶんとえ	福音館書店	5歳から
13	はなのあなのはなし	やぎゅうげんいちろう／さく	福音館書店	5歳から
14	ピーナッツなんきんまめ らっかせい	こうやすすむ／文 中島睦子／絵	福音館書店	5歳から
15	ぼくのぱんわたしのぱん	神沢利子／ぶん 林明子／え	福音館書店	5歳から
16	ぼくはぞうだ	五味太郎／作	福音館書店	5歳から
17	ほね	堀内誠一／さく	福音館書店	5歳から
18	みかん	中島睦子／作 こうやすすむ／監修	福音館書店	5歳から
19	やぶかのはなし	栗原毅／ぶん 長新太／え	福音館書店	5歳から
20	リボンのかたちの ふゆのせいざオリオン	八板康磨／写真と文 杉浦範茂／絵と構成	福音館書店	5 歳から

むかし ばなしの えほん

絵本がなかった時代から、長い
間語り継がれてきた昔話には、
子どもの心を深くとらえるもの
が数多くあります。



『てぶくろ』(ウクライナ民話)



エウゲーニー
M. ラチョフ
／え
うちだりさこ
／やく

福音館書店
(E テ)



雪の上におじいさんがてぶくろを片方落
としていきました。ねずみが中で暮らし
はじめると、動物たちが次々に「いれて」
とやってきます。かえる、きつね、さい
ごは大きなくままで。てぶくろはぎゅう
ぎゅう詰めです。どんどん変化してい
くてぶくろの絵も見どころです。

●3歳から

『おおきなかぶ』(ロシアの昔話)



A. トルストイ／再話
内田莉莎子／訳 佐藤忠良／画
福音館書店 (E オ)

おじいさんがかぶを植えると、とてつも
なく大きいかぶが出来ました。かぶをぬ
こうとしますが、ぬけません。そこでお
ばあさんをよんできて…。「うんとこしよ
どっこいしょ」と本を見ている子どもた
ちも一緒にかぶをぬくことでしょう。絵
も迫力があり引き付けられます。

●3歳から

『おだんごばん』(ロシアの昔話)



せたていじ
／やく
わきたかす
／え

福音館書店
(E オ)



おじいさんにたのまれて、おばあさんは
粉をあつめておだんごばんを作りました。
食べられたくないおだんごばんはこ
ろころ転がって家を飛び出します。うさ
ぎやおおかみたちが食べようとすると楽
しい歌を聞かせて逃れます。歌いなが
ら読むのもおすすめです。

●4歳から

『ねずみのすもう』(日本の昔話)



神沢利子
／文
赤羽末吉
／絵

偕成社
(E ネ)



貧乏なおじいさんが山へしばかりに出かけると、どこからか「でんかしょ でんかしょ」というかけ声が。声のする方をのぞくと、おじいさんの家のやせねずみと太ったねずみがすもうをとっていました。親しみやすい絵と飾らない語り口が子どもを惹きつけます。

●4歳から

『三びきのこぶた』(イギリス昔話)



瀬田貞二
／やく
山田三郎
／え

福音館書店
(E サ)



三びきのこぶたは、家を出て自分たちで暮らすことになりました。わらや木の家を建てたこぶたは狼に食べられてしまいますが、レンガの家を建てたこぶたは知恵を使って生きのびます。イギリスで昔から伝わってきた話を忠実に訳しています。

●4歳から

『だいくとおにろく』(日本の昔話)



松居直／再話
赤羽末吉／画
福音館書店 (E ダ)



腕のいい大工が、流れの速い川に橋をかけられるように頼まれました。悩んでいると鬼が現れ、目玉と交換に橋をかけてやると言われます。橋ができあがったものの、目玉を渡したくない大工は…。白黒とカラーで交互に描かれた水墨画風の絵が迫力満点。

●4歳から

『アナンシと6びきのむすこ』(アフリカ民話より)



ジェラルド・マクダーモット／さく
しろたのぼる／やく
ほるぷ出版 (E ア)



くものアナンシが魚やはやぶさからおどろかされ、おそろしい運命に立たされたところを6匹の息子たちに助け出されます。アナンシはきれいな玉をほうびにやろうとしますが、玉は一つしかありません。誰にやったらいいでしょう。色彩華麗で幾何学的な絵が魅力的。

●5歳から

『うまかたやまんば』(日本の昔話)



おざわとしお／再話
赤羽末吉／画
福音館書店 (E ウ)



うまかたは山道でやまんばに会い、積み荷の魚すべてと馬を食われてしまいました。自分も食われそうになって一軒の家に隠れましたが、その家はやまんばの家でした。子どもたちは、はらはらどきどきしながらお話を楽しみます。

●5歳から

『ガラスめだまときんのつなのヤギ』 (ペラルーシ民話)



田中かな子／訳
スズキコージ／画
福音館書店 (E ガ)



ある日、おばあさんが大切に育てた麦を見に畑へ行くと、ヤギが麦を食べ散らかしていました。クマやオオカミが畑からヤギを追出そうとしますが、出ていきません。ヤギを畑から追出したのは…。リズムよい繰り返しの迫力のある絵で子供たちを引き付けます。

●5歳から

『パンのかけらとちいさなあくま』 (リトアニア民話)



内田莉沙子
／再話
堀内誠一
／画

福音館書店
(E パ)



貧乏なきこりのパンを盗んだ小さな悪魔は、大きな悪魔たちにこっぴどくかられます。お詫びに沼を麦畑にかえましたが、やっと実った麦を意地悪な地主に全部取り上げられてしまいます。地主の行いを小さな悪魔がとんちで仕返すところが痛快です。

●5歳から

『ふしぎなたいこ』(日本の昔話)



石井桃子
／ぶん
清水崑
／え

岩波書店
(E フ)



ふしぎなたいこを使って鼻を高くしたり低くしたりして人を喜ばせていた“げんごろうさん”。ある日どのくらい鼻のびるかためしてみたくになりました。どんなにこどんどこたいこをたたくとげんごろうさんの鼻はぐんぐん伸びていき…。他に2話収録。

●5歳から

そのほかのおすすめほん

番号	書 名 (50 音順)	著 者	出版社	年齢
1	赤ずきん (グリム童話)	グリム／文 バーナデット・ワッツ／絵 生野幸吉／訳	岩波書店	4 歳から
2	おおかみと七ひきのこやぎ (グリム童話)	グリム／作 フェリクス・ホフマン／絵 瀬田貞二／訳	福音館書店	4 歳から
3	こがねのあしのひよこ (アルゼンチン民話)	秋野ゆきこ／再話・絵	福音館書店	4 歳から
4	すいとんさん	日野十成／再話 斎藤隆夫／絵	福音館書店	4 歳から
5	うさぎのみみはなぜながい (メキシコ民話)	北川民次／ぶんといえ	福音館書店	5 歳から
6	おどろトラ (韓国・朝鮮の昔話)	金森襄作／再話 鄭城香 (チョン・スクヒャン)／画	福音館書店	5 歳から
7	おなかのかわ	瀬田貞二／再話 村山知義／絵	福音館書店	5 歳から
8	かさしぞう	瀬田貞二／再話 赤羽末吉／画	福音館書店	5 歳から
9	かちかちやま	小澤俊夫／再話 赤羽末吉／画	福音館書店	5 歳から
10	きこりとおおかみ (フランス民話)	山口智子／再話 堀内誠一／画	福音館書店	5 歳から
11	くわすにようぼう	稲田和子／再話 赤羽末吉／画	福音館書店	5 歳から
12	こぶしいさま	松居直／再話 赤羽末吉／画	福音館書店	5 歳から
13	さんまいのおふだ	水沢謙一／再話 梶山俊夫／画	福音館書店	5 歳から
14	したきりすずめ	石井桃子／再話 赤羽末吉／画	福音館書店	5 歳から
15	たなばた	君島久子／再話 初山滋／画	福音館書店	5 歳から
16	マーシャとくま	M・プラートフ／再話 エウゲーニー・M・ラチョフ／絵 内田莉莎子／訳	福音館書店	5 歳から
17	まほうつかいパーバ・ヤガー (ロシア民話)	松谷さやか／再話 ナタリー・パラン／絵	福音館書店	5 歳から
18	ももたろう	まついただし／ぶん あかばすえきち／え	福音館書店	5 歳から
19	やまなしもぎ	平野直／再話 太田大八／画	福音館書店	5 歳から
20	王さまと九人のきょうだい (中国の民話)	君島久子／訳 赤羽末吉／絵	岩波書店	5 歳から

ことばの えほん

わらべうた、ことばあそび、な
ぞなぞのえほんです。

お子さんと一緒に声に出して楽
しんでください。



『わらべうたであそびましょ!』



さいとうしのぶ／編・絵
のら書店 (E ワ)



たあちゃんが鏡の前でわらべうたを歌い
ながらひとりで遊んでいると、鏡の中か
らねこやだるまさんがやってきて、わら
べうたで遊びます。「ありがとうめさりめ」
「だるまさんだるまさん」など昔から歌
われているわらべうたが7つでできます。

●3歳から 楽譜あり。

『カニツンツン』



金関寿夫
／ぶん
元永定正
／え

福音館書店
(E カ)



「カニ ツンツン ビイ ツンツン」「ト
チチリツン トチチリトン」声に出して
読みたくなる言葉は作者の創作だけでな
く、アイヌ語などの言語が組み合わせさ
って出来たもの。不思議な形と鮮やかな
色があふれる絵本。言葉の由来ページ
も読みごたえがあります。

●4歳から

『これはのみのぴこ』



谷川俊太郎
／作
和田誠／絵

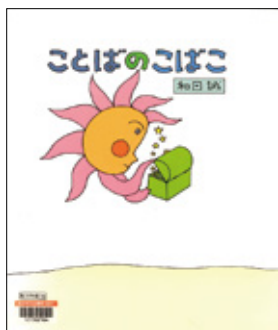
サンリード
(E コ)



「これは のみの ぴこ」「これは の
みの ぴこの すんでいる ねこの
ごえもん」 ページをめくるごとに言葉が
どんどん増えていき、最後はどうなっ
てしまうのでしょうか。早口になってみたり
一息でどこまで読めるか挑戦してみた
り、遊び方無限大です。

●4歳から

『ことばのこぼこ』



和田誠
／さく
・え

瑞雲舎
(E コ)



とまと、しんぶんしなど上から読んでも下から読んでも同じ言葉や、しりとり、かぞえうたなど 18 種類の言葉遊びがまった本です。絵もユーモラスで親しみやすく、それぞれの言葉を補ってくれています。日本語って面白い! と思える絵本です。 ●5歳から

『まますすきですすてきです』



谷川俊太郎
／ぶん
タイガー
立石／え

福音館書店
(E マ)



「ためき、きつね、ねこ…」とはじまって最後のほうは少し奇妙なしりとりあそびの絵本です。すべての言葉が絵で描かれ、その絵を探すのがまた楽しみです。最後は「ん」で終わります。

●5歳から

そのほかのおすすめほん

番号	書名 (50 音順)	著者	出版社	年齢
1	あんたがたどこさ	ましませつこ／絵	こぐま社	3 歳から
2	かえるがみえる	まつおかきょうこ／さく 馬場のぼる／絵	こぐま社	5 歳から
3	もけらもけら	山下洋輔／ぶん 元永定正／え 中辻悦子／構成	福音館書店	5 歳から
4	ことばあそびうた	谷川俊太郎／詩 瀬川康男／絵	福音館書店	5 歳から
5	なぞなぞえほん 1～3のまき	中川李枝子／さく 山脇百合子／え	福音館書店	5 歳から
6	なぞなぞ100このほん	M・プラートフ／採集 松谷さやか／編・訳 M・ミトウーリチ／絵	福音館書店	5 歳から

じ 字のない えほん

文字がなく、絵だけで描かれた
えほんです。

自由にお話ししながら楽しんで
ください。



『もりのえほん』



安野光雅
／絵

福音館書店
(E モ)



緑豊かな森へ散歩に出かけましょう。小
道に沿って歩きながら辺りを見回してい
ると、次第に目が慣れ、写実的な木々
の絵の中に巧みに隠された鳥や動物たち
の姿が浮かび上がってきます。一度にす
べて探せなくても大丈夫。何回でも楽し
める絵本です。 ●4歳から

『なんにかわるかな?』



パット・ハッチンス／作
ほるぷ出版 (E ナ)



いろんなかたちのつみきで何ができるか
な。おうちを作ったら火事になってしまっ
てさあ大変。消防自動車の出動です!そ
の後もつみきは、いろいろなものに変化
していきます。

●3歳から

『はるにれ』



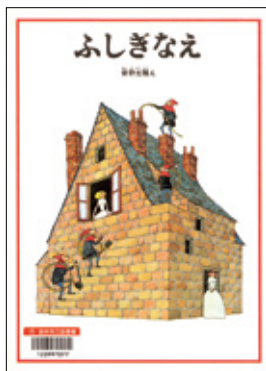
姉崎一馬
／写真

福音館書店
(E ハ)



草原に一本のはるにれの木が立っていま
す。吹雪に耐え、枝が真っ白になりなが
ら雪原にたたずむはるにれ。やがて春に
なり、葉を繁らせます。一本の大木の
四季、様々な時間を撮影した写真で構
成されています。自然の厳しさとやすら
ぎを感じられます。 ●4歳から

『ふしぎなえ』



安野光雅
／え

福音館書店
(E フ)



一見すると普通の絵ですが、よく見るとおかしな絵ばかり。家の壁を階段のように上ったり、階段を上がっても上がっても下に行ってしまった。不思議な世界を親子で楽しめる絵本です。

●5歳から

『やこうれっしゃ』



西村繁男／さく
福音館書店 (E ヤ)



夜行列車に乗り込み、目的地までお菓子を食べたり、トランプをしたりしてひと晩を過ごす人々の様子が、見開きいっぱい、隅々まで描かれています。絵からは、乗客の会話が聞こえてきそうです。電車好きな子にもおすすめです。

●5歳から

そのほかのおすすめえほん

番号	書名 (50音順)	著者	出版社	年齢
1	えんにち	五十嵐豊子／さく	福音館書店	4歳から
2	おみせ	五十嵐豊子／え	福音館書店	4歳から
3	おふろやさん	西村繁男／作	福音館書店	4歳から
4	きのうた	イエラ・マリ／さく	ほるぶ出版	4歳から
5	たびのえほん	安野光雅／著	福音館書店	5歳から
6	雨、あめ	ピーター・スピーアー／作	評論社	5歳から
7	ABCの本	安野光雅／著	福音館書店	5歳から

読んだ本の思い出を 「ふくぶくつうちょう」に残しませんか。

銀行の通帳のように、自分が借りた本を記録しておく通帳です。

「本を借りた日」「書名」「著者名」「本の金額」を

図書館にある専用の印刷機で

印刷することができます。

ご希望の方は市内図書館受付へ

お越しください。



この本よんだよ どの本よもうか

「おうちでよみたい3歳からのえほん」編

発 行：令和2年3月31日

発行者：袋井市立図書館

静岡県袋井市高尾町19-1

Tel 0538-42-5325

